

第三回 重陽の節句 後の雛まつり

今年で、三回目の開催となる「重陽の節句 後の雛まつり」が下記のとおり開催されます。

- ◆期間：令和4年9月4日（日）～10月10日（祝・月）
- ◆場所：北町ふれあいギャラリー・甚風呂・甚風呂別館・岡正・塩路家
白子家・立石茶屋

～ 湯浅の歴史 ～ 第四回

藤原定家と後鳥羽上皇

時代と共に、国家的事業の熊野詣は華美となり随行者も増えて人馬千を数える程の大がかりな旅でありました。後鳥羽上皇に随行した藤原定家は、京都での歌の師範として活躍しており、道中での歌会は定家の提案した題目をもとに始められました。後鳥羽上皇は和歌にも造詣が深く『新古今和歌集』を編集。1201年10月の御幸の湯浅での歌会が催され、上皇がここで詠んだ次の2首が記された熊野懐紙は国宝となっています。

海辺冬月「うら寒く やそしまかけて よるなみを ふきあけの月に 松風そふく」
浜は寒いくつもの島に打ち寄せる波が吹上の浜にも打ち寄せ月の明かりに照らされ松風が吹いている

深山紅葉「うはたまの よるのにしきを たつたひめ たれみやまきと ひとりそめけむ」
こんな山間のきれいな紅葉を見る人もいないが、秋の女神は自分のためにきれいな紅葉に染めてくれたのか

湯浅伝建地区保存協議会

皆様に瓦版をより身近に感じてもらうために、まちなみ瓦版の記事を募集しています！ご意見・ご要望などございましたら、右記のまちなみ瓦版編集委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

半邊 宗五
妻木 良三
楠山 吉雄
油谷 太一
竹田 滋子



まちなみ瓦版

■令和 4年 9月 1日
■第 64 号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：加納 芳明

旧栖原家住宅見学会を行いました



7月24日（日）午前8時30分～11時、20名の方が旧栖原家住宅を見学しました。階段を探し二階に上がったり、柱と梁が交差する部分に釘隠しがあるのに注目したりと興味深く見られていました。

また、当時の様子を知る人は、子どもの時の記憶が思い出されると懐かしそうにされていました。

役場からのお知らせ

旧栖原家住宅工事が完了しました

8月末にて、旧栖原家住宅の工事が完了しました。

地元や観光客の方々が訪れ、実際に伝統的な町家の中を見てもらいながら、伝建地区や醤油について知ってもらえるよう、秋のオープンに向けて準備を進めています。また、栖原家に残されていた醤油醸造用具や昔の生活の道具を、主屋や土蔵で展示する予定です。



令和3年度保存修理事業の報告

令和3年度の保存修理事業として、以下の修理工事が実施されました。
工事内容を紹介しますので、建物の改修などを検討されている方は、参考にしてください。

見矢家住宅主屋修理工事（北町）



令和2年度に庇を復原し、屋根部材や瓦の修理工事を行いました。2期目である令和3年度は、既存の壁や建具を外し、黒漆喰など痕跡に基づき復原修理を行っています。

木下家長屋修理工事（北鍛冶町）



格子など、できるだけ現状保存を行い、壁については既材を撤去し木の壁に、建具も木製にしました。長屋に複数ある腰壁のデザインは、当初の形を検討したうえで復原しました。

酒井家住宅主屋修理工事（北町）



平成20年度に一度修理工事を行いました。12年経ち、当時修理した漆喰が落ち、ひび割れていたため、傷んでいた部分の漆喰を塗り直しました。

伝建地区保存修理事業の募集

伝建地区における保存修理事業の要望を募集しています。保存修理事業では補助金制度があり、特定物件に対する修理には8割補助され、それ以外の建物の改修や新築の場合でも6割（上限600万円）修景補助される場合があります。なお、修景補助に該当しない場合でも、伝建地区内で現状の変更（色、かたち等）がある場合は、必ず役場に届けなければなりません。

修理事業の要望や現状変更に関するご相談がありましたら、お気軽にお問合せください。

問い合わせ先：湯浅町教育委員会 歴史文化財係 ☎64-1128

報告

保存協議会 役員会を開催しました

日時：令和4年8月19日（金）午前10時より

場所：北の町老人憩の家



【協議内容】

●第三回 重陽の節句 後の雛まつりについて

NPO 湯浅まちなみの会より、開催は9/4～10/10の日程で行い、展示箇所は白子家を増やし行くと報告があったことを確認しました。また、重陽の節句をテーマにした大人のぬりえ作品“テルアート展”も同時開催するとのことです。それに併せて、行灯のイベントを予定していましたが、コロナの状況が落ち着かないことを踏まえて、実行委員会から中止すると報告を受けました。

●伝建地区内の整備について

伝建地区内の景観を維持するために、「通路の清掃」「空地の草刈り」「大仙堀の美化」などの取り組みを検討してはどうかとの提案がありました。今後、まちなみ整備部会で検討を進め、活動の取り組みを進めていく予定です。

●「第7回作事組全国協議会 2022 八女福島シンポジウム」&「第8回まちなみフォーラム福岡」について

福岡県のNPO 八女町並みデザイン研究会より上記について案内がありました。シンポジウムは、重伝建地区選定20周年の記念行事として開催されるとのことです。10/22～10/23の日程ですが、役員は都合上参加を断念することになりました。

●旧栖原家住宅の塀について

旧栖原家住宅の塀について、塀の高さやデザインについて意見があり議論しました。役場からは、公開施設であることを考慮し、伝建地区の基準に反しないことを前提に決定したとの説明を受けました。